令和８年度　聖霊病院　医師の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

計画期間　　令和８年４月１日～令和９年３月３１日

１．労働時間と組織管理

（１）労働時間数

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標
年間の時間外・休日労働時間数の平均	30	30
年間の時間外・休日労働時間数の最長	262	214
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0	0
1,860 時間超の人数・割合	0	0

（２）労務管理・健康管理

〇労働時間管理方法

前年度の取組実績	出退勤時間はタイムカードにより管理し、時間外労働はタイムカードの他「時間外命令確認調書」を併用し労働時間の管理を行った。
当年度の取組目標	前年度同様に、労働時間の管理に取り組む。
計画期間中の取組目標	同上

〇宿日直許可の有無を踏まえた時間管理

前年度の取組実績	宿日直許可は以前に取得済であり､その許可に基づき宿日直を実施し、勤務時間の管理を行った。
当年度の取組目標	前年度同様に、勤務時間の管理に取り組む。
計画期間中の取組目標	同上

〇医師の研鑽の労働時間該当性を明確化するための手続等

前年度の取組実績	職員就業規則第４３条に明記しており、掲示板等で周知した。
当年度の取組目標	前年度実績同様に取り組む。
計画期間中の取組目標	同上

〇労使の話し合い、36 協定の締結

前年度の取組実績	労働者代表に時間外・休日労働の実績を提示・説明し、話し合いの上協定を締結している。締結協定は、職員に掲示板等で周知した。
当年度の取組目標	前年度実績同様に取り組む。
計画期間中の取組目標	同上

〇衛生委員会、産業医等の活用、面接指導の実施体制

前年度の取組実績	衛生巡視等により、職場環境の改善等に取り組んだ。
当年度の取組目標	引き続き、職場の定期巡視等により、職場環境の改善等に取り組む。
計画期間中の取組目標	同上

〇追加的健康確保措置の実施

前年度の取組実績	該当者が出ないように注視していたが、該当する者は出なかった。
当年度の取組目標	該当者が出ないように注視し、該当者が出そうな場合は、先んじて面接指導していく。

計画期間中の取組目標	同上

（３）意識改革・啓発

〇働き方改革に関する医師の意識改革

前年度の取組実績	タイムカードによる出退勤時間と労働時間について、必要な医師に随時周知した。
当年度の取組目標	前年度実績同様に取り組む。
計画期間中の取組目標	同上

（４）策定プロセス

各職種（医師、看護師、コメディカル、事務等）の代表者で構成する「働き方改革推進委員会」を２ヶ月に１回開催し、この短縮計画やタスク・シフト／シェア等について検討し策定する。

２．労働時間短縮に向けた取組

（１）タスク・シフト／シェア

〇職種毎に推進するもの

別紙「聖霊病院における医師のタスク・シフト／シェアの計画（2025 年度）」のとおり

計画策定時点での取組実績	計画された業務以外でも必要に応じて実施可能なものは実施した。
当年度の取組目標	前年度実績同様に取り組む。
計画期間中の取組目標	同上

（２）医師の業務の見直し

〇外来業務の見直し

計画策定時点での取組実績	健診業務について、内科系医師以外にも実施させ、内科系医師の負担軽減を図った。
当年度の取組目標	救急対応等の負担を軽減すべく、対応可能な医師の純増等を図っていく。
計画期間中の取組目標	同上

〇宿日直の体制や分担の見直し

計画策定時点での取組実績	宿日直実施医師の勤務負担軽減のため、宿日直専門の非常勤医師を積極的に採用した。また、専門科の宿直では宿直回数を削減した。
当年度の取組目標	引き続き、宿日直専門の非常勤医師の雇用を継続していく。
計画期間中の取組目標	同上

（３）その他の勤務環境改善

〇ＩＣＴその他の設備投資

計画策定時点での取組実績	リプレイスされた電子カルテにおいて、統合ビューワ機能が追加され、必要な診療情報を一元的に確認でき、効率的に診療ができるようになった。

当年度の取組目標	業務改善・効率化が可能なＩＣＴ等を積極的に整備していく。
計画期間中の取組目標	同上

〇出産・子育て・介護など、仕事と家庭の両立支援

計画策定時点での取組実績	育児短時間勤務や個人の事情に合わせた勤務時間を組んで仕事と家庭の両立を支援している。
当年度の取組目標	前年度同様に取り組む。
計画期間中の取組目標	同上

（４）副業・兼業を行う医師の労働時間の管理

〇副業・兼業先の労働時間も踏まえた勤務シフトの管理

計画策定時点での取組実績	副業・兼業について、適宜周知の上、届出を提出させて勤務時間を管理した。
当年度の取組目標	前年度同様に取り組む。
計画期間中の取組目標	同上